



## 平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月11日

上場取引所 名

上場会社名 株式会社 NITTOH

コード番号 1738 URL <http://www.nittoh-info.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 中野 英樹

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長

(氏名) 伊藤 寿朗

TEL 052-915-3210

四半期報告書提出予定日 平成23年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	1,363	△2.5	63	30.3	67	33.4	34	63.2
23年3月期第1四半期	1,398	13.4	48	△19.2	50	△25.6	21	△44.1

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 34百万円 (81.8%) 23年3月期第1四半期 19百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	16.98	—
23年3月期第1四半期	10.41	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	3,303		1,846			55.8
23年3月期	3,215		1,838			57.1

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 1,844百万円 23年3月期 1,837百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	13.00	13.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	0.00	—	14.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,801	4.5	88	△0.1	95	1.7	38	△17.4	19.03
通期	5,860	3.0	246	13.1	252	11.0	137	12.8	67.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期1Q	2,030,180 株	23年3月期	2,030,180 株
24年3月期1Q	1,973 株	23年3月期	1,973 株
24年3月期1Q	2,028,207 株	23年3月期1Q	2,028,207 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 追加情報	8
(5) セグメント情報等	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(7) 重要な後発事象	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済状況は、東日本大震災の影響から、国内企業の生産及び輸出などが減少し、緩やかな収益回復の兆しが一転し、減少基調に転じて推移する厳しい状況となりました。今後も国内においては、電力の供給抑制や原発災害、雇用環境の悪化や失業率上昇による所得環境の不安などの影響が懸念され、さらに海外経済の金融不安懸念も残る不安定な状況が続いております。

このような経済状況のもとで、当社グループ当第1四半期連結累計期間の建設工事業におきましては、震災後の首都圏から端を発した節電意識の高まりから、既設住宅向けの省エネ対応設備への取換リフォームや太陽光発電システム設置工事の受注件数は順調に推移いたしました。しかし一方で、新築戸建住宅向けの防水工事については、震災後の建築資材不足や工期の先延ばしなどによる完了物件の引渡し延期の影響を受けて業績は低迷いたしました。

住宅等サービス事業においては、継続してシロアリ対策の新規依頼件数が減少していることや防湿商品の需要も年々減少傾向にあることから、新規顧客の開拓などに注力しております。シロアリ再施工工事の既存顧客の掘り起こしに努めましたが、受注件数が減少し、業績はわずかながら減少いたしました。

ビルメンテナンス事業においては、大口取引先からの取引内容変更や価格見直し要請があるものの、社員教育の徹底により品質の高いサービスを提供し、他社との差別化を図っており、また、首都圏においては、継続して都市整備に伴うビルプロジェクトや高層マンションの建設が進行しており、既存顧客の維持と新規顧客の開拓に注力し、業績の確保に努めました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,363百万円(前年同四半期比2.5%減)、営業利益は63百万円(前年同四半期比30.3%増)、経常利益は67百万円(前年同四半期比33.4%増)、四半期純利益は34百万円(前年同四半期比63.2%増)となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて88百万円増加し、3,303百万円となりました。主な増減は、売掛債権の増加79百万円及びたな卸資産の増加28百万円があったものの、現金及び預金の減少34百万円があったことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べて79百万円増加し、1,456百万円となりました。主な増減は、仕入債務の増加29百万円及び短期借入金の減少30百万円があったことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて8百万円増加し、1,846百万円となりました。主な増減は、利益剰余金の増加8百万円があったことによるものであります。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

当四半期におきましては、ほぼ計画どおりに業績が推移しておりますので、平成23年5月12日発表の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	845,030	810,412
受取手形及び売掛金	662,240	741,521
たな卸資産	366,565	394,702
その他	100,032	124,317
貸倒引当金	△10,562	△10,716
流動資産合計	1,963,306	2,060,237
固定資産		
有形固定資産		
土地	563,586	563,586
その他(純額)	321,782	317,215
有形固定資産合計	885,368	880,802
無形固定資産		
のれん	41,039	37,050
その他	10,433	10,169
無形固定資産合計	51,473	47,220
投資その他の資産	315,922	316,022
貸倒引当金	△766	△926
固定資産合計	1,251,997	1,243,118
資産合計	3,215,304	3,303,356
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	396,482	425,783
短期借入金	225,000	195,000
1年内返済予定の長期借入金	1,440	10,080
未払法人税等	61,356	43,325
賞与引当金	74,670	35,829
完成工事補償引当金	18,500	17,300
その他	170,618	268,454
流動負債合計	948,067	995,772
固定負債		
長期借入金	—	19,920
退職給付引当金	259,687	268,978
長期末払金	24,840	24,840
その他	144,692	147,352
固定負債合計	429,219	461,090
負債合計	1,377,286	1,456,863

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	186,072	186,072
資本剰余金	145,813	145,813
利益剰余金	1,497,262	1,505,340
自己株式	△623	△623
株主資本合計	1,828,523	1,836,601
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,690	8,098
その他の包括利益累計額合計	8,690	8,098
少数株主持分	803	1,792
純資産合計	1,838,017	1,846,492
負債純資産合計	3,215,304	3,303,356

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	1,398,664	1,363,726
売上原価	974,664	932,147
売上総利益	423,999	431,579
販売費及び一般管理費	375,521	368,388
営業利益	48,478	63,190
営業外収益		
受取利息	25	55
受取配当金	401	400
受取手数料	542	715
受取保険金	—	2,014
補助金収入	1,231	—
その他	1,222	1,817
営業外収益合計	3,422	5,003
営業外費用		
支払利息	948	475
その他	203	30
営業外費用合計	1,152	505
経常利益	50,748	67,688
特別利益		
固定資産売却益	6,005	—
特別利益合計	6,005	—
特別損失		
固定資産売却損	52	—
固定資産除却損	7	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	3,721	—
投資有価証券評価損	320	—
特別損失合計	4,100	—
税金等調整前四半期純利益	52,653	67,688
法人税、住民税及び事業税	44,064	44,016
法人税等調整額	△13,449	△11,761
法人税等合計	30,614	32,254
少数株主損益調整前四半期純利益	22,038	35,434
少数株主利益	934	989
四半期純利益	21,104	34,444



## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	22,038	35,434
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,869	△591
その他の包括利益合計	△2,869	△591
四半期包括利益	19,169	34,842
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	18,234	33,853
少数株主に係る四半期包括利益	934	989

## (3) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日）

該当事項はありません。

## (4) 追加情報

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

## (5) セグメント情報等

## I 前第1四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	建設工事業	住宅等サービス事業	ビルメンテナンス事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	706,322	314,865	377,475	1,398,664	—	1,398,664
セグメント間の内部売上高 又は振替高	50	520	370	940	△940	—
計	706,372	315,385	377,845	1,399,604	△940	1,398,664
セグメント利益又は損失(△)	△5,777	71,421	29,059	94,703	△46,225	48,478

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△46,225千円には、セグメント間取引消去△9,693千円、各報告セグメントに配分していない全社費用55,918千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務部等管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	建設工事業	住宅等サービス事業	ビルメンテナンス事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	671,110	310,800	381,815	1,363,726	—	1,363,726
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	406	435	841	△841	—
計	671,110	311,207	382,250	1,364,568	△841	1,363,726
セグメント利益又は損失(△)	△287	76,159	34,107	109,979	△46,788	63,190

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△46,788千円には、セグメント間取引消去△9,607千円、各報告セグメントに配分していない全社費用56,395千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務部等管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

該当事項はありません。

## (7) 重要な後発事象

該当事項はありません。